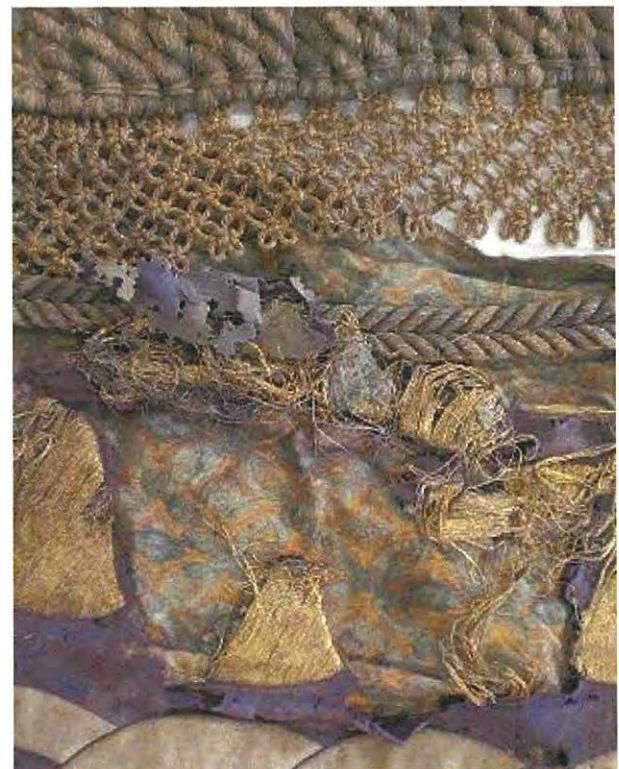


(3) 平成 31 年度以降の資料補修について

・化粧まわし

昨年度の収蔵資料審議会にて補修するべき資料として、指摘された小野川才助の「化粧まわし」については、本年度、文化財資料として補修できる業者の情報を収集するところから始めた。京都府の宇佐美松鶴堂が染織品の修復を行っているとのことであり、打ち合わせしたところ、資料の修復方法等について実見の上、方針を定める必要があるとのことであった。化粧まわしは、傷みが激く動かすことができないため、京都の宇佐美松鶴堂へ送ることは不可能であり、来年度、お願いできるよう調整中である。



・練革黒漆白糸威五枚胴具足 (久留米藩十一代藩主有馬頼咸所用)

2021年は、有馬家が久留米に入って、400年にあたり、有馬家に関する展示会を実施することとなる。そのため、十一代藩主有馬頼咸が所有している練革黒漆白糸威五枚胴具足を修復し展示する。



5. その他

(1) 資料の活用状況について

・ 展示

【平成 29 年度六ツ門図書館展示コーナー】

No.	展示会名	会期	来場者数 (人)
1	自殺対策月間パネル展	4月1日～4月13日 ※会期3月15日から	124
2	消費者啓発パネル展	4月15日～5月14日	344
3	輝く～スポーツと人権～展	5月17日～6月18日	374
4	平和資料展 軍都久留米の風景と暮らし	7月8日～9月24日	4,171
5	ぐるぐるめぐる みずのみち展	10月11日～11月5日	497
6	むかしの暮らし展 くるめ今昔写真館	11月25日～3月25日	6,894
7	常設展示	4月1日～3月31日	449

12,853 人

* 主催は、1は健康福祉部保険予防課、2は協働推進部消費生活センター、3は協働推進部人権啓発センター、5は上下水道部営業管理課、4・6は文化財保護課

* 常設展示「昭和30年代の暮らし」（上記1～6の会期以外）

【平成 29 年度久留米シティプラザ】

展示会名 「みる、きく、そうぞうするー機巧と絣ー」

会 期 平成30年1月2日（火・祝）～1月10日（水） 10時～17時

※会期無休 日数9日間

会 場 久留米シティプラザ 展示室1・2・3

入 場 料 無料

主 催 久留米市、久留米市教育委員会

共 催 公益財団法人久留米絣技術保存会

協 力 NPO法人久留米からくり振興会

イベント からくり人形の実演 1月2・3・7日 11時～・14時～（各回30分程度）

※2・3日は、実演前に「くるっば」による「くるっばシール」配布（子ども対象）

来場者数 2,702名



展示室入口



絣コーナー



からくりコーナー



実演状況

【平成 30 年度六ツ門図書館展示コーナー】

	展示会名	会期	入場者数
1	世界人権宣言展	4月6日～4月22日	196人
2	防災展	4月25日～6月17日	1,163人
3	濁流天に満つ ー筑後川水害とくるめの人々ー	7月7日～9月24日	4,403人
4	くるめの上下水道展 わたしたちのくらしと上下水道	10月10日～11月4日	523人
5	むかしのくらし展 学校のたからもの2	11月23日～3月24日	開催中

* 主催は、1 協働推進部人権啓発センター、2 都市建設部防災対策課、3 上下水道部営業管理課、
4・5 文化財保護課

* 常設展示「昭和 30 年代のくらし」（上記 1～5 の会期以外）



濁流天に満つ「ー筑後川水害とくるめの人々ー」

【平成30年度久留米シティプラザ】

展示会名 平成30年度久留米市収蔵資料展 「行きかう、にぎわう ー交差点都市の系譜ー」

会 期 平成30年8月25日(土)～平成30年9月3日(月) 10時～17時

会期10日間・無休

会 場 久留米シティプラザ2階 展示室2

入場料 無料

主 催 久留米市、久留米市教育委員会

主 旨 久留米地域は、古代以来、政治経済・文化交通の要衝として発展してきた。その長い歴史とともに生み出され、残されてきた多様な歴史資料の数々を、『陸の道、河川の道』『行きかうモノ・人・文化』『都市のあゆみ』をキーワードに公開し、交差点都市としての久留米の歴史を紹介。

関連イベント 田中久重作「文字書き人形」の実演(8月25日及び9月2日)

来場者数 688名



・資料貸出

【平成 29 年度】

12 件 (137 点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
4月1日～ 3月31日	久留米市 人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室	太鼓	1
7月15日	久留米市立 御井小学校	久留米空襲についての学習会 で使用	雑のう・千人針・ 防空頭巾・爆弾片、 他	4
8月1日～ 11月1日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「大名有馬家臣団Ⅱ－ 家臣の家と古文書－	有馬忠頼知行宛行 状、他	37
8月3日～ 8月9日	個人	空襲体験の語り部で使用	雑のう・千人針・ 防空頭巾	3
9月1日～ 12月15日	九州歴史資料館	企画展「福岡県の城－戦国乱 世の城から幕藩体制の城へ－ 」	延宝八年製久留 米街図、巴紋軒丸 瓦	2
10月10日～1 2月8日	八代市立博物館未来 の森ミュージアム	平成 29 年度秋季特別展覧会「 大笠鉾展」への出品のため	久留米祇園祭礼之 図	1
10月25日～1 1月6日	久留米市立 屏水中学校	教材として	ちきり・分銅	6
11月1日～ 12月22日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「花鳥画の世界」	三谷永就資信「臨 画卷」、他	21
11月15日～1 1月16日	筑後染織共同組合 光延敏郎	久留米縞調査	久留米縞、他	11
12月1日～ 3月30日	大牟田市立三池カル タ・歴史資料館	企画展「大牟田市誕生物語」	電気洗濯機、他	9
1月22日～ 4月20日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「姫様のひなまつり」	ひな道具、他	41
2月26日～ 5月31日	佐賀県立 佐賀城本丸歴史館	特別展「肥前さが幕末維新の 『技』－日本の産業革命は佐 賀から始まった－」	田中久重夫妻湿板 写真	1

【平成 30 年度（10 月 31 日現在）】

7 件（62 点）

期間	機関名	目的	資料名等	数量
4月1日～ 3月31日	久留米市人権啓 発センター	人権啓発センター常設展示室	太鼓	1
6月10日	久留米市立江南 中学校	平和学習ため	雑囊、爆弾破片他	8
6月20日～ 6月27日	個人	福岡空襲の体験発表	雑囊 他	2
6月21日～ 6月27日	久留米市立鳥飼 小学校	平和学習のため	久留米空襲爆弾 片 他	2
7月13日～ 7月17日	個人	久留米空襲について学ぶため	雑能 他	4
7月25日～ 7月27日	読み聞かせボラ ンティア「おはな し隊」	わいわいキッズでの読み聞かせ	紙芝居 二つの 弾片	1
9月21日～ 1月8日	公益財団法人 有馬記念館保存 会	平成 30 年度企画展「大名有馬家 臣団Ⅱ-久留米幕末維新-」で展示	報国日誌 上之 巻 他	44

・印刷物掲載等

【平成 29 年度】

42 件（161 点）

許可日	申請機関等	目的	資料名	点 数
5月1日	公益財団法人有馬 記念館保存会	平成 29 年度有馬記念館年間スケジ ュールに掲載するため	有馬豊氏書状ほか	4
5月29日	個人	西南学院大学講義内での資料紹介	娼妓所得金日記帳	1
6月2日	株式会社ビデオス テーションキュー	テレビ西日本報道番組「CUBE」 において、久留米城下町の歴史を取 材するため	久留米城古写真	1
6月7日	読売新聞西部本社 鳥栖支局	読売新聞記事に使用のため	田中久重肖像写真	1
6月21日	株式会社ビデオス テーションキュー	テレビ西日本報道番組「CUBE」 において、久留米城下町の歴史を取 材するため	昭和 28 年水害関係 写真	5

6月28日	八代市立博物館未来の森ミュージアム	八代市立博物館平成29年度秋季特別展覧会「大笠鉦展」展覧会図録及び広報物への写真掲載のため	久留米祇園祭礼之図	1
6月28日	西日本新聞社久留米総局	読売新聞記事に使用のため	田中久重肖像写真、他	4
6月30日	読売新聞久留米支局	平成29年7月3日付読売新聞福岡県版	大石町被災状況	1
7月10日	株式会社テレビ朝日	「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」企画で放送のため	田中久重肖像写真	1
7月12日	株式会社 MaK Office	「別冊宝島 関ヶ原の戦い 東西名将読本」への掲載	徳川家康書状	1
8月9日	九州朝日放送報道部	KBC テレビ「ニュースピア」放送のため	第12師団司令部写真	1
8月9日	個人	「西日本文化」484号掲載のため	田中久重夫妻湿版写真	1
8月18日	九州歴史資料館	資料館企画展のため	延宝八年製図久留米街図、巴紋軒丸瓦	2
8月3日	個人	平成29年度水の祭典パワーストリートでの観衆に配布するチラシに使用	写真(バラック9~10の捕虜たち)、他	4
8月24日	一般財団法人 西日本文化協会	「西日本文化」秋季号(484号)掲載	書状(品川沖入津露西亜人御屋鋪前行列致見物候次第)、他	3
9月6日	一般財団法人 西日本文化協会	「西日本文化」秋季号(484号)掲載	写真「明治初期の久留米城本丸」他	5
9月13日	一般財団法人 西日本文化協会	「西日本文化」秋季号(484号)掲載	写真「つちや足袋創始者 倉田雲平」、他	3

10月2日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「花鳥画の世界―久留米藩御用絵師の絵画から―」展示にかかる広報印刷物	三谷永遠就資信「臨画卷」、他	21
10月10日	個人	牛島謹爾の漫画への使用のため	写真「トラクターと馬車」、他	4
10月18日	個人	土地制度の研究のため、土地家屋調査士の研修資料として利用。レジュメ及びパワーポイントなどに掲載	坂本家屋敷図	1
10月24日	個人	土地制度の研究のため、土地家屋調査士の研修資料として利用。レジュメ及びパワーポイントなどに掲載	久保家屋敷図	1
10月27日	株式会社ネクサス	BS-TBS「にっぽん！歴史鑑定」番組内で使用	慶長5年(1600)八月十三日付徳川家康書状	1
10月30日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「姫様のひなまつり」展示にかかる広報印刷物	ひな道具など	41
11月2日	西日本新聞 久留米総局	本紙紙面での紹介のため	ポテト王牛島謹爾翁晩年の肖像写真	1
11月2日	佐賀県立佐賀城本丸歴史館長	特別展「肥前さが幕末維新の『技』―日本の産業革命は佐賀から始まった―」に係るリーフレット及び展示パネルにて使用するため	田中久重夫妻湿板写真	1
11月17日	公益財団法人日本城郭協会	お城 EXPO2017 に展示の解説パネルに使用するため	久留米城巽櫓石垣写真	1
11月17日	株式会社アッシュ	(株)デアゴスティーニ・ジャパン発行『必殺仕事人 DVD コレクション』内「江戸の仕事人たち」の章に使用	田中久重胸像写真	1
12月1日	個人	西南学院大学講義内での資料紹介	娼妓所得金日記帳	1
12月1日	ロントラ株式会社	BS ジャパン「知る食うロード」放送のため	創立当初の九州医専	2
12月14日	個人	中国青島への研修旅行の資料に使用	写真「鉄条網を張った川(青島)」	1

1月12日	個人	調査・研究のため	ひな道具 庖厨具	1
2月20日	柳川市教育委員会	柳川の歴史1『柳川の成り立ち』図 版へ掲載	鬼夜、御塚・権現 塚古墳俯瞰写真	2
3月1日	柳川市教育委員会	柳川の歴史1『柳川の成り立ち』図 版へ掲載	筑後国三妻郡玉垂 宮并大善寺仏神事 記文	1
3月13日	公益財団法人 有 馬記念館保存会	企画展「大名有馬家の武具甲冑」展 示にかかる広報印刷物	桐花透し鐔など	4
3月13日	公益財団法人 有 馬記念館保存会	平成30年度有馬記念館年間スケジ ュールに掲載するため	練革黒漆塗白糸威 五枚胴具足など	5
3月16日	株式会社ネクサス	テレビ番組「石坂浩二のニッポン凄 い人名鑑」（平成30年4月1日2 1時〜）で放映	弓曳き童子	1
3月15日	株式会社平凡社	新戸雅章著『江戸の科学者＝西洋に 臨んだ異才たち』掲載	田中久重作「文字 書き人形」	1
3月22日	有限会社海鳥社	古賀正美著・海鳥社発行『久留米城 と城下町（仮題）』掲載のため	宮殿有志名簿記、 他	23
3月26日	株式会社 碧水社	週刊ビジュアル戦国王第96号の大 友義鑑紹介記事に掲載	大友義鑑感状	1
3月27日	福岡県立 青少年科学館	ロボット・科学技術コーナーで展示	田中久重肖像写真 ・弓曳き童子	2
3月27日	WEB工房ツイズ ネット	日吉コミュニティセンター紹介動画作成の ため	旧西鉄久留米駅構 内、他	4

【平成 30 年度（10 月 31 日現在）】

16 件（37 点）

許可日	申請機関等	目的	資料名	点数
4 月 11 日	個人	調査及び学習会使用のため	久留米祇園祭礼之図 他	11
5 月 30 日	個人	論文作成のため	金銭貸借計算簿	1
7 月 2 日	個人	「モッチャンTV」で放送	S25 明治通りの拡幅写 真(カメとら 115 ペー ジ)	1
7 月 25 日	クルメスタイル	くるめすたいる8月号掲載のため	透明ガラス草花文花 切子脚付コップ 他	7
8 月 1 日	個人	住宅情報誌『ジオ楽間』掲載の ため	昭和 28 年水害写真	4
8 月 6 日	個人	学会誌への投稿	旧久留米市庁舎ライ オン像 2 体	1
8 月 7 日	個人	論文作成のため参考文献として 使用するため	娼妓所得金日記帳	1
8 月 7 日	テレビ西日本報道 部	報道番組作成のため	明治 22 年福岡県下水 害図	1
8 月 28 日	八女市岩戸山歴史 文化交流館	歴史講座のチラシに掲載するた め	地球儀	1
9 月 13 日	フォーNET	月刊「フォーNET」10月号掲載 のため	ドイツ人俘虜関係画像 他	3
9 月 19 日	筆界調査員土地家 屋調査士	筆界特定事件（平成 30 年 5 月 10 日 第 80 号）にて使用	地目変換地価修正 届 明治 30 年 国分 (6-11-73)	1
9 月 28 日	株式会社ノーマ・ジ ーン	地域情報誌「ノーマ・ジーン」に 牛嶋謹爾の肖像画を掲載するた め	牛島謹爾翁晩年の肖 像写真	1
10 月 2 日	佐賀県産業労働部 ものづくり産業課	展示会「SAGAものづくり夢ラボ」 解説パネル	弓曳き童子画像（機 械遺産の写真）	1
10 月 5 日	筆界調査員土地家 屋調査士	筆界特定事件（平成 30 年 5 月 10 日 第 80 号）にて使用	国分村地盤図明治八 年十月（6-11-2）	1
10 月 9 日	株式会社 夢の設 計社	河出書房新社刊のKAWADE 夢文庫シリーズ『九州の城下町 を古地図で歩く本』の本文ペー ジに、読者理解を助けるために 掲載	天保時代久留米城下 図	1
10 月 15 日	朝日新聞佐賀総局 総局長 前地昌道	朝日新聞(10月24日朝刊)「佐 賀幕末維新のことば」に掲載	田中久重夫妻湿板写 真	1

上記のほか撮影のみ 件（点）

収蔵資料点数一覧（平成30年3月31日現在）

	歴史資料	美術工芸	民俗	考古	自然	その他	計
文化財収蔵館	54,261	9,955	1,883	22	2	5	66,128
高良内収蔵庫	325	6	538	0	0	0	869
南町収蔵庫	6,055	1,185	2,495	77	0	16	9,828
田主丸収蔵庫	6,953	35	1	0	0	0	6,989
三潞収蔵庫	30	0	623	0	0	0	653
日吉町収蔵庫	2,500	0	0	0	0	0	2,500
その他※	10	2	128	1			141
計	70,134	11,183	5,668	100	2	21	87,108

※六ツ門図書館展示コーナー常設展示等へ長期出庫

久留米市文化財収蔵資料審議会委員名簿

区分	氏名	出欠	所属
歴史	江藤 彰彦 <small>えとう あきひこ</small>		久留米大学経済学部 文化経済学科教授
歴史	吉田 洋一 <small>よしだ よういち</small>		久留米大学文学部 国際文化学科教授
美術工芸	植野 かおり <small>うえの かおり</small>		立花家史料館館長
美術工芸	國生 知子 <small>こくしょう ともこ</small>		甘木歴史資料館副館長
美術工芸	吉永 陽三 <small>よしなが ようぞう</small>		学識経験者 (前佐賀県立博物館・美術館副館長)
考古	大津 忠彦 <small>おおつ ただひこ</small>		筑紫女学園大学
民俗	吉留 優子 <small>よしどめ ゆうこ</small>		学識経験者 (前九州産業大学美術館主任学芸員)
教育普及	後藤 純子 <small>ごとう じゆんこ</small>		久留米市美術館総務課長

報告（２） 平成30年度の事業概要

I. 文化財保護課の体制

久留米市 〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp				
	課長	チームリーダー	事務職	専門職
<p>市長 大久保 勉 副市長 中島 年隆 森 望</p> <p>教育長 大津 秀明 0942-30-9000</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 松野 誠彦 文化芸術担当部長 宮原 義治 市民文化部次長 西村 信二</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 (埋文) 0942-30-9322 (保護) 0942-30-9323 (管理) FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財収蔵館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281</p>	文化財保護課	埋蔵文化財 課長補佐 久保田 由美		<p>主査 水原 道範</p> <p>事前確認 事務主査 塚本 映子 小澤 太郎</p> <p>西町発掘調査事務所 江頭 俊介 西 拓巳 小川原 励 大隈 彩未 長谷川 桃子 米澤 美詠子(専) 宮崎 彩香(専) 今村 理恵(専)</p> <p>埋蔵文化財センター 熊代 昌之</p>
	課長兼埋蔵文化財センター所長 水島 秀雄	文化財保存活用 課長補佐(兼)主査 丸林 禎彦		<p>本田 岳秋 江島 伸彦 神保 公久 穴井 綾香 廣木 誠</p> <p>文化財収蔵館 寺崎 勝美(嘱) 石橋 久美子(専) 石橋 裕佳(専)</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 中村 吉文(再) 二村 智治(嘱)</p>
		文化財管理 課長補佐(兼)主査 白木 守	事務主査 岡崎 明美 市村 久美子 倉吉 孝道 石松 眞知 内堀 一弘 古賀 文子(任) 野間 華(任)	
		(公財)久留米絨技術保存会 事務局長 水島 秀雄	事務局次長 丸林 禎彦	大藪 住江
	(公財)有馬記念館保存会 事務局長 水島 秀雄	事務局次長 白木 守	岡崎 明美 内堀 一弘	神保 公久 穴井 綾香

(再)は再任用職員、(嘱)は嘱託職員、(専)は専任非常勤職員、(任)は任期付非常勤職員の略。